

2020年度 評価報告書（自己評価）

2021年3月
信望愛学園 高千帆小百合幼稚園

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月に入りさゆりの会より4名、地域代表者2名の方に、実施報告書をもとに自由記述でご意見と評価を頂きました。その後、個別に聞き取りをして、意見をまとめましたので報告させていただきます。

方 針

子どもが神から受けた生命を喜び、人を愛し人から愛されて生きるための基礎となる人格を形成されるよう、自己活動を援助します。

子どもの真の幸せへ導くため、生命を担っている両親を励まし、責任が果たされるよう協力し助けます。

2020年度 目 標

「友達や自然、世界との関わりの中で自由と自立の発達を促すために、研修、教育環境整備、情報提供を行う」

項 目	具体的な取り組み
① 研修（資質向上の取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック幼稚園として、園内外の研修の実施と参加 ・モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深める
② 教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や室内の環境について話し合い、遊びや運動が充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。
③ 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・行事のお知らせや園だよりをより分かりやすくし、お勤めされている方が増えたため、出来る限り早い配布に努める。

活動計画、及び、評価と取り組み状況・所見

活動計画 <small>（評価項目）</small>	評価	取 り 組 み 状 況・所 見
① 研修（資質向上の取組み） ＊カトリック幼稚園としての教育目標に取り組むため、園内外の研修の実施と参加 ・マリアカフェの開催、年3回 ・「宗教」＝神様のお話の時間 8回 ・マリア祭/さゆり祭/クリスマスの特別祈禱月刊での活動 マリア祭（コロナ禍、ロザリオの祈りを通して）	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた県内外の研修は中止になった。 そのため園内研修（神父様による）の時間だけでなく、毎日終礼の中で本を読み、祈りの心を大切にしました。 後半は本の言葉を受けて祈り、感想を伝え合うことを続けている。 ・講師の片柳神父様の『宗教』の時間を月1回、園児と職員のためにとっている。また、保護者に対しても学期に一度、「マリアカフェ」を開催した。 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、宗教「神父様のお話」の時間は継続してとるようにした。毎回プロジェクターを使用して、神父様の撮影による美しい自然や他国の様子を収めた写真を映しながら見せて頂いた。

<ul style="list-style-type: none"> ・七五三祝福式（大きく成長できたことへの感謝） ・クリスマスお祝い会 （クリスマスの本当の意味を知り、愛と奉仕の心を理解し、それを実践してみる） （SDGsについて学ぶことにより、今自分達でできることに目を向け、実行に移してみる） <p>*モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深める</p>		<p>紙芝居等も映像化して下さったので、3密を避けながらお話を聞くことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児はユニセフやカリタス等の活動を詳しく知るにより、世界に目を向けることができた。SDGsの国内外の取り組みについても学び、今の自分達で何が出来るかを一人ひとりが考え、目的や目標を持って活動でき、それによって責任感や達成感も感じることができた。（エコバッグの利用・ペットボトルの再利用・何でも残さず食べる等） ・その姿を見て、同じような取り組みに興味を持つ年中児や年少児、保護者の協力もあり、カリタスやユニセフを通して多くの募金ができた。コロナ禍においてこのような活動ができたことに、子ども達の成長を感じる。 ・県外の移動を極力減らすために、広島モンテッソーリコースの研修には参加を控えた。 そのため、新任教諭の学びも含め、教具の提供法の見直しや体操全般の関り方などを分散で行った。
<p>② 教育環境整備</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、遊びや運動における教育的な環境の配慮だけでなく、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための環境設定を重点的に行う必要があった。5月の緊急事態宣言解除後に3密を避けるための活動と環境設定について全員で確認し、様々な取り組みを行った。 向かい合って座ることを避けるため、机の向きを1方向に設定し、集会活動のあり方も見直した。新しい机も購入し、子ども達の活動に留意しながら、密を少なくするための環境設定にも尽力した。 ・本館1階トイレの改修工事を行い、洋式トイレに改装した。最近ではほとんどの家庭が洋式トイレなので、和式トイレで用が足せない子どもが多い。また年少児においては、入園後に排泄の確立を進めていかなければならない子どもも多く、早急に改修を必要とした。床も乾式に張り直し、より衛生的に使用できるようになった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、横割り活動においてもグループを2つに分け、使用する部屋もそれに合わせるようにした。使用後も次亜塩素酸水を使用して拭き掃除を行い、消毒を実施した。 ・子ども達にとっては、3密を避けることには限度があるので、夏期と激しい運動の時間を除いては、マスクの着用と手洗い、消毒を重視した。 ・教室では、常に空気の循環に注意を払い、暑さ寒さに関係なく換気を行った。 <p>・新型コロナウイルス感染症拡大においては、飲食中の感染が懸念</p>

		<p>されることから、給食時間のあり方を変更した。以前は配膳も子ども達が当番活動として行っていたが、今年度、子ども達は座って待ち、配膳全般は教師が行うようにし、給食を介して感染が広がらないように配慮した。(向かい合っては座らない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外遊び後の手洗いや消毒を徹底する。
③ 情報提供	B	<ul style="list-style-type: none"> 働かされている保護者の増加に伴い、園だより等でスケジュールを早めに確認されたい方も多い。その為、それらの配布を前月の3週目末までに行うようにした。 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、緊急事態宣言等が出される中では、マチコミメールを使用して手紙の配布を行うことが多かった。 既読チェックも行いながら、連絡漏れのないように努めた。 参観等ができない期間が続いた為、マチコミメール機能のタイムラインを使い、日常生活の出来事等を紹介するようにした。 また同じ理由で園フォトを導入し、写真で日常生活の様子をお知らせするようにした。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>2020年度の重点目標を達成するために計画的に取り組むようにしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、研修においては自園においての学び直しを中心となった。</p> <p>教育環境の整備においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組み、コロナ禍の中でも安全に留意し、友達や自然、世界との関わりに気付き、自由と自立の発達を促すことができた。今後も引き続き取り組み、運動や遊びの充実を通して、より子ども達の成長に深く関わっていきたい。</p> <p>また、保護者からのアンケート結果と自己評価(保育者)を合わせ見ることにより、より良い幼稚園教育を進めていくための課題も明確になった。</p>

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

今後取り組む課題

項目	具体的な取り組み
①研修(資質向上の取組)	<ul style="list-style-type: none"> カトリック幼稚園としての教育目標に取り組むため、園内外の研修の実施と参加。 モンテッソーリ教育の理念を理解し、教具についての研鑽を深める。
②教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 園庭や室内の環境について話し合い、特に運動や遊びが充実するように幼児の発達に添った環境の構成に取り組む。 園業務のICT化を進めると共に、園児の情報共有と個人情報管理の徹底を図る。
③情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供手段として、ホームページやマチコミメールを利用して、園内外の方に園の情報を広く周知するための工夫を行う。

6. 幼稚園評価委員会のご意見

* 報告書の名称について・・・この報告書は幼稚園の方針や年度目標が評価対象になっているため、現在の名称「2020年度 自己評価・幼稚園評価報告書」を「2020年度 評価報告書（自己評価）」としたほうが、次年度への目標に生かすことができる。

* 評価の基準について・・・ABCDの評価基準を見直し、SABCの評価基準を導入してはどうか？

S	十分効果があった→Excellent の状態	達成状況が特に優れている、予想を超える	◎
A	成果があった	→Good の状態 達成状況が良好	○
B	少し成果があった→合格範囲、達成状況が概ね良好	運営に支障なし	△
C	成果が見られない→達成状況が不十分	運営に支障あり 改善必要	×

上記のような評価基準であれば 評価「A」も付けることができ、◎ではなくても○の評価はできる。

* 評価のA～Dは、数値を用いた評価を行うと分かりやすくなる。（園内研修5回以上実施→A 4回実施→B）等

* 目標部分の具体的な取り組みについては、スローガンではなく数値目標等で示した方がよい。

* 各項目で評価をしているので、総合評価は必要かどうかを検討するとよい。

* 各項目の「取り組み状況・所見」の中に、「実施した具体内容→成果→課題→来年度の課題・改善案」というようにまとめていると、より分かりやすい。

* 重点目標について・・・目標となるものが、スローガンのように感じるため、記載の表現を検討するとよい。

* アンケート結果の横罫線を実線と破線を合わせて使った方が、見やすい。

* 筆記部分は、文章量が多いので、明朝とゴシック等を使い分けると読みやすくなる。

* ②トイレの改修により、子ども達が使いやすくなったことは評価できる。

* コロナ禍の中、子ども達がきちんとマスクを着用しているのを見て、園での取り組みの努力が感じられる。

* ③園フォト、タイムラインにより園生活の様子を見ることができ、良かった。今後は更新等の回数を増やして欲しい。

* ①教会に隣接しているので、もう少し教会に来て活動しても良いのではないかと。

* ①敬老の日に近隣の方を招待する、または訪問する等の活動、勤労感謝の日に近くの施設を訪問する等の活動をしてはどうか？

* コロナ禍の中子ども達を安心して預けることのできる環境を作って頂いたことに感謝している。

* 行事や参観も分散形式で行うことができたことは評価できる。

〈幼稚園より〉

・評議委員様のご意見より、報告書の名称を「評価報告書」とし、教育方針→方針、教育目標→目標というように変更しました。また、目標についてはよりわかりやすくするために、報告書の内容は変えず、次年度につなげるためにもよりわかりやすく書き直しました。

また、来年度の目標と項目、取り組みについても実施回数等を明確にしていく必要があるため検討します。

これからも、皆様からのご意見をもとに、2021年度に向けて職員一同心を一つにして、更なる教育環境の整備、情報提供、教職員の資質向上に努めます。